

授業科目群名	コース必修科目		
授業科目名	医療コミュニケーション学 I (健康行動科学)		
開講学期	1年次・前期	単位数	2
担当教員	鴨打 正浩(世話人), 荒木 登茂子		
授業の概要	<p><b>I. 一般学習目標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医療・健康における人の行動を科学的に分析する能力を修得する.</li> <li>・医療・健康における人の行動に関する問題を解決する能力を身につける.</li> </ul> <p><b>II. 個別行動目標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生命・医療における倫理の原則を説明できる.</li> <li>・生と死にかかわる倫理的問題を説明できる.</li> <li>・医療・健康にかかわる人の行動を理解する.</li> <li>・医療・健康にかかわる人の行動が複雑多岐にわたることを説明できる.</li> <li>・医療・健康にかかわる人の心理状態を感じ, その背景を類推する.</li> <li>・医療・健康にかかわる人の行動を変える支援ができる.</li> <li>・医療者と患者の心理状態とその相互作用を理解する.</li> <li>・病気に対する人の反応を予測できる.</li> <li>・医療・健康にかかわる現場における会話の役割を説明できる.</li> <li>・医療・健康にかかわるコミュニケーション技術を習熟する.</li> </ul> <p><b>III. 講義内容</b></p> <p>1/2 回 医療・健康にかかわる現場のコミュニケーション</p> <p>3/4 回 医療者－患者関係</p> <p>5/6 回 病状説明, インフォーム・ドコンセント</p> <p>7/8 回 行動変容</p> <p>9/10 回 生命・医療倫理</p> <p>11/12 回 患者中心性</p> <p>13/14 回 ストレスマネジメント</p> <p>15 回 事例検討・ワークショップ</p>		
授業のすすめ方	患者, 医療者の医療・健康にかかわる行動について討議する. 適宜講義を交え, ワークショップ, グループディスカッションを通して学習する.		
教科書及び参考書	講義資料を適宜配布する.		
OFFICE HOUR	他の用務がなければ常時質問, 相談に応じる.		
試験・成績評価	受講態度 40%, 提出課題 60%により評価する.		